

チュチェ思想 — 金日成主席が残した貴重な遺産

ポーランド・ワルシャワ・チュチェ思想研究会会員
マルタ・グレレック

2022年4月15日は、朝鮮民主主義人民共和国の永遠なる主席である金日成主席の生誕110周年になる日です。

金日成主席が誕生した1912年の当時、朝鮮人民の将来は明るくありませんでした。実際、全朝鮮民族は、計り知れない不幸と苦痛の中で呻吟していました。

その2年前である1910年8月、日本帝国主義は「日韓併合条約」を捏造し、全朝鮮にたいする植民地統治体制を樹立しました。国を奪われた朝鮮人民は、限りなく恐ろしい虐待と屈辱を強いられました。しかし、それ以来のことは、1912年が例になく驚嘆すべき大慶事であり、祖国の運命を変革させ、人民を受難から救ってくれる解放の恩人、偉大な領袖の誕生をもたらしたことを証明してくれました。金日成主席の誕生は、朝鮮人民と世界の進歩的人民のために自分のすべてを捧げ、世界の自主化と社会主義偉業に大きな業績を積み上げ、進歩的人民が進むべき思想を示した偉人の誕生でありました。

今日、朝鮮民主主義人民共和国の人民たちが、幸せで繁栄する強国を建設するために力強く闘うようにし、また世界の人民を鼓舞する思想であるチュチェ思想を創始したのは、金日成主席が積み上げた業績の中の一つです。

チュチェ思想は、人民大衆は革命と建設の主人であり、革命と建設をおし進める力も人民大衆にあるということを教えています。

チュチェ思想の指導的原則は、革命と建設において自主的立場を堅持し、創造的方法を具現すべきであると強調しています。

1972年、金日成主席は、ある日本の記者に次のように教えました。

「主体性を確立するというのは、自国の革命と建設に対して主人としての態度をとるということです。言いかえれば、それは、革命闘争と建設事業において提起されるすべての問題を自主的な立場と創造的な立場で、主として自分自身の力で自国の実情に即して解決していく自主性と創造性を具現することを意味します」

金日成主席は、朝鮮革命の新しい道を開拓する闘争の過程にチュチェ思想を創始しました。金日成主席は、1930年6月、共産主義青年同盟および反帝青年同盟の指導幹部会議でおこなった歴史的演説「朝鮮革命の進路」で、初めてチュチェ思想の原理を闡明しました。

チュチェ思想は、闘争の各段階で朝鮮人民に進むべき進路を示す、貴重な財宝、世界の灯台となりました。

その後、チュチェ思想は金正日総書記によって深化、発展され、金正恩総書記によっていっそう発展し、豊かになりました。

今日、朝鮮民主主義人民共和国は、各分野でチュチェ思想の要求通りに、政治における自主、経済における自立、国防における自衛の原則を確固と守っています。

金正恩総書記の賢明な指導のもとに、チュチェの社会主義偉業は、最悪の難関の中でもより高い段階へと力強く前進しています。

2008年、アメリカのジョージ・W、ブッシュ大統領は、豪語するような口調で「朝鮮は世界でもっとも制裁を多く受けている国」であるといいました。

それ以来、各種の反共和国経済制裁が追加され、その結果、合法的な国家対外貿易はほとんど封鎖されました。国連安保理の制裁をはじめ、敵対勢力が朝鮮人民に完全に不公平な制裁を加えたことは、現世界の恥ずべき現実です。このように耐えがたい環境が重なった中でも、朝鮮では、人民のための驚嘆すべき活動を行っています。

例えば、現在、平壤に数万世帯の住宅が建設されています。

最近、遠い北辺の三池淵市が、美しく近代的な都市に完工されました。

これは、多くの事実の中の一部にすぎません。

われわれのような客観的な観測者にとって、地球上の他の国と違って、帝国主義者の制裁を過酷に受ける国が、そのようなすべてのことをやり遂げることができるというのは実に驚くべきことです。

しかし、わたしは、このような成果の秘訣は人民の利益を優先視し、自力更生に基づく金正恩総書記の自主政治にあると断言します。

金正恩総書記の指導を受ける朝鮮人民は、いかなる外部の助けがなくても、過酷な経済制裁の中でも、世界が驚くべき奇跡を生み出すことができます。

金日成主席は、いつも以民為天を座右の銘としました。

金正恩総書記も以民為天を座右の銘とし、全党がこの理念を深く刻み付けるべき必要性について強調しました。

金正恩総書記の特出した指導によって社会主義偉業は力強く前進し、チュチェ偉業の明るい未来と愛する人民の幸福が保証されています。

チュチェ思想は、金日成主席が残した貴重な遺産であり、金正恩総書記の賢明な指導のもとにこんにち、立派な繁栄をもたらす貴重な財宝となっています。